

2009年1月13日

洞爺湖サミットにおけるカーボンオフセットの協力について

株式会社日本スマートエナジーは、1月9日外務省ホームページにおいて報告書が公表されましたとおり、平成20年7月7日～9日に北海道洞爺湖において開催された先進国首脳会合（G8北海道洞爺湖サミット）の運営の際に発生した温室効果ガスをオフセット（相殺）する日本政府の取組みに賛同し、ブラジルバイオマス発電プロジェクトから獲得する国連認証の排出権（CER）の提供を通じ、カーボンオフセットの取組みに参画しました^{注1)}。

カーボンオフセットは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るように削減努力を行い、それでも排出してしまう分を自らの活動が環境へ与えた負荷として認識しそれを自らの責任として打ち消し（オフセットし）、また、それを打ち消すために支払った費用が、途上国でのクリーンな開発や発展の推進に活用され、間接的に地球温暖化防止や途上国のサステナブルな開発に貢献する取組です。

注1)

- 排出権の種類：ブラジルにおけるバイオマス発電 CDM プロジェクト(国連登録プロジェクト番号：228)により得られる CER
- 提供量： 16,221tCO₂

以 上